



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 南海辰村建設株式会社  
 コード番号 1850 URL <http://www.nantatsu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 口野 繁

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 堀 正輝

TEL 06(6644)7805

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,114	19.1	104	53.6	100	45.6	88	37.0
2020年3月期第1四半期	7,650	29.5	225	61.0	184	67.6	140	72.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 93百万円 ( 39.1%) 2020年3月期第1四半期 154百万円 ( 70.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.06	
2020年3月期第1四半期	4.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,003	10,519	35.1
2020年3月期	33,306	10,425	31.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,519百万円 2020年3月期 10,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、開示が可能となった段階で配当予想を速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	22,000	25.0	330	43.6	320	40.1	200	48.3	6.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現時点において、合理的に算定することが困難なことから、引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	28,835,730 株	2020年3月期	28,835,730 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	7,623 株	2020年3月期	7,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	28,828,125 株	2020年3月期1Q	28,828,453 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、社会経済活動が抑制され、極めて厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除後も、引き続き国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動の影響に注視が必要な状況が続いております。

この間、建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、企業収益の減少や先行き不透明感の高まりにより、民間建設投資は弱含んでおり、受注環境は厳しさを増しております。

このような状況の下、当社グループでは2018年度を初年度とする「3カ年経営計画」の基本方針に基づき、「既存事業のブラッシュアップ」、「経営基盤の更なる強化」の各目標達成に向けて鋭意邁進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ19.1%増の91億14百万円、営業利益は前年同四半期に比べ53.6%減の1億4百万円、経常利益は前年同四半期に比べ45.6%減の1億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ37.0%減の88百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症による業績への影響は軽微であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

#### (建設事業)

売上高は前期繰越工事高が多かったこと等により、前年同四半期に比べ19.9%増の90億60百万円となり、セグメント利益は売上高が増加したものの利益率が低下したこと等により、前年同四半期に比べ45.9%減の1億9百万円となりました。

#### (不動産事業)

前期に有形固定資産の一部を売却したこと等により、不動産賃貸収入が減少し、売上高は前年同四半期に比べ43.9%減の56百万円、セグメント利益は前年同四半期に比べ93.4%減の2百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、現金預金が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等及び供託金が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ33億3百万円減の300億3百万円となりました。

負債合計は、未成工事受入金が増加したものの、支払手形・工事未払金等及び借入金が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ33億96百万円減の194億83百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ93百万円増の105億19百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正いたしました。なお、連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年7月30日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2021年3月期通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期が不確実であり、現時点で合理的に算定することが困難なことから、前回発表(2020年4月28日)に引き続き、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	3,661	9,022
受取手形・完成工事未収入金等	20,585	14,329
販売用不動産	1	1
未成工事支出金	272	430
材料貯蔵品	95	83
供託金	2,190	-
その他	979	654
貸倒引当金	△38	△38
流動資産合計	27,748	24,483
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,289	1,277
土地	2,241	2,241
その他（純額）	70	61
有形固定資産合計	3,600	3,580
無形固定資産	229	211
投資その他の資産		
破産更生債権等	70	70
退職給付に係る資産	573	571
繰延税金資産	733	726
その他	447	454
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	1,728	1,727
固定資産合計	5,558	5,519
資産合計	33,306	30,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,812	11,445
短期借入金	5,532	2,932
未払法人税等	18	20
未成工事受入金	640	1,071
完成工事補償引当金	1,189	1,195
賞与引当金	254	108
その他	290	634
流動負債合計	20,737	17,407
固定負債		
長期借入金	966	883
退職給付に係る負債	1,044	1,061
その他	132	131
固定負債合計	2,142	2,075
負債合計	22,880	19,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	6,725	6,814
自己株式	△3	△3
株主資本合計	10,425	10,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	7
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	0	5
純資産合計	10,425	10,519
負債純資産合計	33,306	30,003

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,650	9,114
売上原価	6,879	8,477
売上総利益	770	636
販売費及び一般管理費	545	532
営業利益	225	104
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
還付加算金	-	2
その他	2	5
営業外収益合計	6	12
営業外費用		
支払利息	11	7
固定資産除却損	6	5
その他	29	2
営業外費用合計	47	16
経常利益	184	100
特別損失		
投資有価証券評価損	32	-
訴訟損失引当金繰入額	19	-
特別損失合計	52	-
税金等調整前四半期純利益	132	100
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等調整額	△12	6
法人税等合計	△7	12
四半期純利益	140	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	140	88

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	140	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	5
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	13	5
四半期包括利益	154	93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154	93
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,552	98	7,650	—	7,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	5	△5	—
計	7,554	101	7,655	△5	7,650
セグメント利益	201	34	235	△10	225

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,058	55	9,114	—	9,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	1	3	△3	—
計	9,060	56	9,117	△3	9,114
セグメント利益	109	2	111	△6	104

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の拡大により、企業活動が停滞する中、当第1四半期連結累計期間の当社グループは平常時と同程度の事業活動を継続することができました。

しかしながら、引き続き国内外の本感染症の動向には注視が必要であり、今後の広がり方や収束時期については不確実性が高く、当社グループの業績に及ぼす影響は、現時点において合理的に算定することは困難であります。そのため、当社グループとしては、受注の減少等に伴う業績への影響が2021年3月期以降生じるものと仮定し、過去の実績等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りを行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分		前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
建設事業	建築	6,172	80.7	7,120	78.1	947	15.3
	土木	1,136	14.8	1,821	20.0	684	60.3
	電気	242	3.2	116	1.3	△125	△51.8
計		7,552	98.7	9,058	99.4	1,506	19.9
不動産事業		98	1.3	55	0.6	△42	△43.2
合計		7,650	100	9,114	100	1,464	19.1

(2) 受注状況

区分		前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注工事高	建築	10,875	74.3	2,938	49.3	△7,936	△73.0
	土木	2,799	19.1	2,947	49.5	148	5.3
	電気	962	6.6	71	1.2	△891	△92.6
合計		14,637	100	5,957	100	△8,679	△59.3
繰越工事高	建築	35,097	75.7	39,287	82.3	4,190	11.9
	土木	10,178	22.0	7,654	16.1	△2,524	△24.8
	電気	1,069	2.3	771	1.6	△297	△27.8
合計		46,345	100	47,713	100	1,368	3.0

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以上